

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-02		
施設名	熊野前ひろば館				
所在地	東尾久五丁目9番3号(男女平等推進センター併設)				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成9年	347,575	国・都	区債
	増改築①				一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成9年3月29日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成9年4月1日		職員数	13	0
構造	RC造		階層	地上3階、地下2階	
面積	敷地面積		男女平等推進センター敷地内(1,031.56) m ²		
	延床面積		599 m ²		
設置目的・経緯	児童福祉の増進				
関連部署	総務企画課、区民施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	30台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。				
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者、学童クラブ利用児童				
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			
施設基本データ等	年間利用者数(人)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	開館日数(日)	42,533	15,946	20,907	23,883
	学童クラブ定員(人)(4/1)	50	50	50	50
	学童クラブ在籍者数(人)(4/1)	80	33	19	23
	令和5年度(見込み)	28,000	293	293	28
に指定管理に係る費用等					
備考	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を設け事業を実施した。				

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	R3年度	R4年度	差額				R3年度	R4年度	差額			
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	73,013	71,193	▲ 1,820	地方税等	0	0	0	0	0	
		物件費	6,989	7,350	361	国庫支出金	6,753	7,758	1,005	6,753	7,758	
		維持補修費	229	654	425	都支支出金	7,938	9,871	1,933	7,938	9,871	
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	941	1,027	86	941	1,027	
		補助費等	249	404	155	使用料及び手数料	277	202	▲ 75	277	202	
		減価償却費	10,006	10,006	0	その他	0	0	0	0	0	
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	15,909	18,858	2,949	15,909	18,858	
		賞与・退職給与引当金繰入額	5,870	3,134	▲ 2,736	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 80,447	▲ 73,883	6,564	▲ 80,447	▲ 73,883	
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0	
		行政費用合計(b)	96,356	92,741	▲ 3,615	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 80,447	▲ 73,883	6,564	▲ 80,447	▲ 73,883	
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 80,447	▲ 73,883	6,564	▲ 80,447	▲ 73,883			
貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,324	3,134	▲ 190	3,324	3,134	
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0	
		有形固定資産	110,994	100,988	▲ 10,006	賞与引当金	3,324	3,134	▲ 190	3,324	3,134	
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	
		建物	356,857	356,857	0	固定負債	37,738	35,686	▲ 2,052	37,738	35,686	
		建物減価償却累計額	▲ 245,863	▲ 255,870	▲ 10,007	特別区債	0	0	0	0	0	
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	37,738	35,686	▲ 2,052	37,738	35,686	
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	41,062	38,820	▲ 2,242	41,062	38,820	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	69,932	62,168	▲ 7,764	69,932	62,168	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	69,932	62,168	▲ 7,764	69,932	62,168			
資産の部合計	110,994	100,988	▲ 10,006	負債及び正味財産の部合計	110,994	100,988	▲ 10,006	110,994	100,988			
備考	令和4年度の行政費用については、燃料価格高騰等に伴う光熱水費の増に加え、3年に1度行う劣化度調査等に係る委託料の増に伴い物件費が増加した。また、量の張替えや消防設備の修繕を行ったことにより、維持補修費が増加した。											

指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	63	66	69	71.7	
1㎡当たりコスト(円)	160,656	177,516	160,955	154,917	
経費に占める収入の割合(%)	1	16	17	20.3	
開館1日当たりコスト(円)	364,307	470,221	328,860	316,522	
利用者1人当たりコスト(円)	2,261	6,664	4,609	3,883	
人にかかるコストの割合(%)	85	69	82	80.1	
財務指標・評価指標等					
備考	令和2年度の空調設備改修における国・都補助金に加え、令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る補助金を計上することとしたため、経費に占める収入の割合が増加している。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことにより、年間利用者数が回復したため、利用者1人当たりコストが減少した。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	年間利用者数	45,200 実績値	30,956 15,946	19,300 20,907	25,000 23,883	28,000 28,000
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	児童に対する豊かな遊びの提供の場、切れ目ない地域の子育て拠点					
現状・課題	<p>○積極的な地域との交流を継続的に行い、魅力的なプログラムを実施する必要がある。</p> <p>○児童事業実施ひろば館で唯一の多目的室を活用したひろば館運営が必要である。</p> <p>○子育て中の保護者の悩み等を把握し、地域の子育て拠点としての役割を果たす必要がある。</p> <p>○男女平等推進センターと一体になって施設の機能・性能の保全に努めながら、修繕を計画的に実施していく必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○今後も地域との交流や、多目的室を活用した体を動かすプログラムを充実させ、中高生の居場所も提供することで、児童、生徒の利用増に繋がる取組みを進めていく。</p> <p>○保護者向け講座を充実させ、保護者同士の交流を図っていくとともに、保護者が気軽に相談できるように声掛けを行っていく。</p> <p>○日常点検や保守点検を有効活用し、危険箇所を事前に把握し、利用者が安心して利用できる環境を提供していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						



新型コロナウイルス感染症対策を行いながら館を運営し、利用者数は回復傾向である。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-01			
施設名	花の木ひろば館					
所在地	荒川五丁目50番5号(荒川保育園併設)					
部課名	子ども家庭部児童青少年課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	昭和45年	45,804	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	昭和45年10月24日		区職員	その他		
供用開始年月日	昭和45年11月1日		職員数	16	0	
構造	R C造		階層	地上4階		
面積	敷地面積	荒川保育園敷地内(1,065.22) m ²				
	延床面積	919 m ²				
設置目的・経緯	児童福祉の増進					
関連部署	保育課、区民施設課					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ		
駐輪場の状況	5台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。					
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者、学童クラブ利用児童					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	年間利用者数(人)	40,444	27,180	32,091	33,310	37,000
	開館日数(日)	264	226	293	293	293
	学童クラブ定員(人)(4/1)	60	60	60	60	60
	学童クラブ在籍者数(人)(4/1)	34	42	61	68	62
に指定管理に係る費用等						
備考	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を設け事業を実施した。					

III 財務諸表

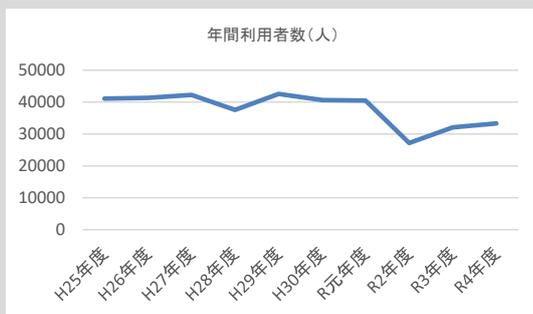
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	79,514	77,669	▲ 1,845	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	9,090	10,825	1,735	国庫支出金	12,836	11,807	▲ 1,029	12,836	11,807	▲ 1,029	
	維持補修費	2,264	8,978	6,714	都支出金	14,789	15,323	534	14,789	15,323	534	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	2,475	3,103	628	2,475	3,103	628	
	補助費等	237	494	257	使用料及び手数料	12	23	11	12	23	11	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	175	175	0	175	175	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	30,112	30,431	319	30,112	30,431	319	
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,393	3,419	▲ 2,974	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 67,386	▲ 70,954	▲ 3,568	▲ 67,386	▲ 70,954	▲ 3,568	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	97,498	101,385	3,887	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 67,386	▲ 70,954	▲ 3,568	▲ 67,386	▲ 70,954	▲ 3,568	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 67,386	▲ 70,954	▲ 3,568	▲ 67,386	▲ 70,954	▲ 3,568		
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,620	3,419	▲ 201	3,620	3,419	▲ 201
	流動資産	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0	0
	有形固定資産	土地	0	0	0	賞与引当金	3,620	3,419	▲ 201	3,620	3,419	▲ 201
		建物	45,804	45,804	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	0
	固定資産	建物減価償却累計額	▲ 45,804	▲ 45,804	0	固定負債	41,098	38,932	▲ 2,166	41,098	38,932	▲ 2,166
		工作物等	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	41,098	38,932	▲ 2,166	41,098	38,932	▲ 2,166
		無形固定資産	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	44,718	42,351	▲ 2,367	44,718	42,351	▲ 2,367	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 44,718	▲ 42,351	2,367	▲ 44,718	▲ 42,351	2,367		
資産の部合計	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 44,718	▲ 42,351	2,367	▲ 44,718	▲ 42,351	2,367		
				負債及び正味財産の部合計	0	0	0	0	0	0		
備考	令和4年度の行政費用については、燃料価格高騰等に伴う光熱水費の増により、物件費が増加した。また、消火栓ポンプの取替工事に伴い維持補修費が大幅に増加した。											

指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
1㎡当たりコスト(円)	97,107	91,975	106,109	110,339	
経費に占める収入の割合(%)	1	8	31	30.0	
開館1日当たりコスト(円)	337,981	373,942	332,758	346,024	
利用者1人当たりコスト(円)	2,206	3,109	3,038	3,044	
人にかかるコストの割合(%)	90	89.0	88	80.0	
財務指標・評価指標等					
備考	令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る国・都補助金を計上することとしたため、経費に占める収入の割合が増加している。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことにより、年間利用者数が回復したが、維持補修費の大幅な増に伴い、利用者1人当たりコストが微増となった。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位	目標値	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	年間利用者数	実績値	41,200	27,860	32,900	39,000	37,000
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他()	<input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止				
管理形態の変更の推移							
利用者・地域のニーズ	児童に対する豊かな遊びの提供の場、切れ目ない地域の子育て拠点						
現状・課題	<p>○積極的な地域との交流を継続的に行い、魅力的なプログラムを実施する必要がある。</p> <p>○区内で唯一の木工室や読書コーナー等がある花の木ひろば館の施設の機能を活かしたひろば館運営が必要である。</p> <p>○子育て中の保護者の悩み等を把握し、地域の子育て拠点としての役割を果たす必要がある。</p> <p>○施設及び設備の老朽化により、改修等が必要な箇所がある。将来的にふれあい館への移行を見据えながら、施設の機能・性能の保全に努め、修繕を計画的に実施していく必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	<p>○今後も地域との交流や、木工室等の施設の機能を活かし、魅力的な事業やプログラムを充実させ、中高生を含め、児童、生徒の利用増に繋がる取組みを進めていく。</p> <p>○保護者向け講座を充実させ、保護者同士の交流を図っていくとともに、保護者が気軽に相談できるよう声掛けを行っていく。</p> <p>○日常点検や保守点検を有効活用し、危険箇所を事前に把握し、利用者が安心して利用できる環境を提供していく。</p>						
議会、利用者等からの意見							



新型コロナウイルス感染症対策を行いながら館を運営し、利用者数は回復傾向である。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-03		
施設名	ひぐらし小学童クラブ(旧西日暮里二丁目ひろば館)				
所在地	西日暮里二丁目32番25号(ひぐらし小学校敷地内)				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成28年	289,008		
	増改築①				
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成28年4月13日		区職員	17	その他
供用開始年月日	平成28年4月18日		職員数	17	0
構造	鉄骨造		階層	地上3階	
面積	敷地面積	562.75㎡			
	延床面積	833.74㎡			
設置目的・経緯	児童の健全な育成を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	学童クラブの運営に関する条例、学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	30台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社マミーインターナショナル	期間	令和4年4月1日	から	
				令和9年3月31日	まで	
事業内容	児童が放課後を安心・安全に過ごし、様々な体験・活動を行うことができるよう、学童クラブとにこにこすくーる(放課後子供教室)を一体として運営する。					
対象者	学童クラブ・にこにこすくーる利用児童					
運営時間等	運営時間	午前8時15分～午後7時(にこにこすくーるは午前9時～午後5時)				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	年間利用者数(人)	50,746	28,716	42,266	-	-
	開館日数(日)	264	226	293	-	-
	学童クラブ定員(人)	80	80	80	80	80
	学童クラブ在籍者数(人)(4/1)	79	57	66	80	79
に指定管理費用等	人件費					
	運営費					
備考	ふれあい館整備ニュープランにより、令和3年度末でひろば館機能が廃止となった。また、学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、学童クラブ在籍児童数は増加している。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額				
行政コスト計算書	給与関係費	79,514	0	▲ 79,514	地方税等	0	0	0	0	0	0		
	物件費	16,178	48,846	32,668	国庫支出金	13,044	11,591	▲ 1,453	13,044	11,591	▲ 1,453		
	維持補修費	1,346	275	▲ 1,071	都支支出金	16,546	14,937	▲ 1,609	16,546	14,937	▲ 1,609		
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	2,848	3,589	741	2,848	3,589	741		
	補助費等	603	33	▲ 570	使用料及び手数料	22	0	▲ 22	22	0	▲ 22		
	減価償却費	9,772	9,772	0	その他	0	0	0	0	0	0		
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	32,460	30,117	▲ 2,343	32,460	30,117	▲ 2,343		
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,393	0	▲ 6,393	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 81,346	▲ 28,809	52,537	▲ 81,346	▲ 28,809	52,537		
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0	0		
	行政費用合計(b)	113,806	58,926	▲ 54,880	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 81,346	▲ 28,809	52,537	▲ 81,346	▲ 28,809	52,537		
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 81,346	▲ 28,809	52,537	▲ 81,346	▲ 28,809	52,537			
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,620	0	▲ 3,620	3,620	0	▲ 3,620	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	0	0	
	有形固定資産	251,902	242,130	▲ 9,772	賞与引当金	3,620	0	▲ 3,620	3,620	0	▲ 3,620		
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	0	
		建物	271,447	271,447	0	固定負債	41,098	0	▲ 41,098	41,098	0	▲ 41,098	
		建物減価償却累計額	▲ 19,544	▲ 29,316	▲ 9,772		特別区債	0	0	0	0	0	
		工作物等	0	0	0		退職給与引当金	41,098	0	▲ 41,098	41,098	0	▲ 41,098
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	44,718	0	▲ 44,718	44,718	0	▲ 44,718	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	207,184	242,130	34,946	207,184	242,130	34,946		
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	207,184	242,130	34,946	207,184	242,130	34,946		
資産の部合計	251,902	242,130	▲ 9,772	負債及び正味財産の部合計	251,902	242,130	▲ 9,772	251,902	242,130	▲ 9,772			

令和4年度の放課後子ども総合プラン委託化により、給与関係費等が減少し、運営委託費の物件費が増加した。

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	4	7	11	
	1㎡当たりコスト(円)	116,714	137,798	136,501	70,677	
	経費に占める収入の割合(%)	4	10	29	51.1	
	開館1日当たりコスト(円)	36,859	50,835	38,842	-	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,918	4,001	2,693	-	
	人にかかるコストの割合(%)	94	83.0	76	0.0	
備考	令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る国・都補助金及びここにこすくーるに係る都補助金を計上することとしたため、経費に占める収入の割合が増加している。令和3年度末でひろば館機能が廃止となったため、令和4年度の開館1日当たりコスト及び利用者1人当たりコストは不計上となっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他(総合プランを委託化(令和4年度から))					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、利用者の需要は高くなっている。					
現状・課題	○保育の質の担保及び魅力的な活動プログラムを実施するため、職員の資質を担保する必要がある。 ○令和6年度当初に、普通教室棟への改修のため旧日暮里ひろば館へ移転を予定していることから、教育施設課に建物の引き継ぎを行う。また、旧日暮里ひろば館への移転後もひぐらし小学校や地域と連携し、放課後子ども総合プラン(一体型)を推進していく必要がある。 ○地域の危険個所の把握を行いながら、児童の安全確保及び児童への安全指導を行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○安全・安心な保育環境の確保及び保育の質の向上を図るため、各学童クラブへの巡回指導、支援を強化していく。 ○ひぐらし小学校と調整し、校内スペースを有効活用したり、地域の協力の下、体験学習等を充実することにより、旧日暮里ひろば館への移転後も引き続き、一体型総合プランを推進していく。 ○見守り確認業務員を一部増員し、児童の安全確保に努めるとともに、今後も地域の巡回により、危険個所の把握や情報収集を行う。					
議会、利用者等からの意見						

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-04			
施設名	二日小学童クラブ					
所在地	東日暮里六丁目19番12号					
部課名	子ども家庭部児童青少年課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成25年	104,992	国・都	区債	一般財源
	増改築①	令和3年	25,520	24,000		
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	令和3年3月12日		区職員	その他		
供用開始年月日	令和3年4月1日	職員数	6			
構造	鉄骨造	階層	地上2階			
面積	敷地面積	536 m ²				
	延床面積	435 m ²				
設置目的・経緯	児童の健全な育成を図る					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	学童クラブの運営に関する条例、学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例等					
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	無	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社日本デイケアセンター	期間	令和3年4月1日 令和6年3月31日	から まで		
事業内容	保護者の就労等により、昼間家庭において、適切な保護を受けることができない小学校在学児童に対し、適正な遊びと生活の場を提供する。また、学校休業日を中心に、二日小にこにこすくーる（放課後子ども教室）と連携し、放課後子ども総合プランとして運営する。						
対象者	保護者の就労等により、放課後に適切な保護を受けることができない荒川区に居住する小学校に在学する児童						
運営時間等	運営時間	午前8時15分から午後7時まで					
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始					
施設基本データ等	学童クラブ定員(人)	(4/1)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	学童クラブ在籍者数(人)	(4/1)			90	90	90
					76	79	87
に指定管理に係る費用	人件費			21,036	21,869		
	運営費			2,945	3,044		
備考	学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、在籍児童数は増加している。						

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	27,507	28,490	983	11,840	12,277	437	国庫支出金	11,840	12,277	437	
	維持補修費	0	754	754	12,650	13,753	1,103	都支出金	12,650	13,753	1,103	
	扶助費	0	0	0	3,099	3,806	707	分担金及び負担金	3,099	3,806	707	
	補助費等	0	0	0	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	3,677	3,677	0	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	27,589	29,836	2,247	行政収入合計(a)	27,589	29,836	2,247	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	▲ 3,595	▲ 3,085	510	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,595	▲ 3,085	510	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	31,184	32,921	1,737	▲ 3,595	▲ 3,085	510	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,595	▲ 3,085	510	
特別費用(g)	0	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	▲ 3,595	▲ 3,085	510	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,595	▲ 3,085	510		
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	680,564	676,888	▲ 3,676	0	賞与引当金	0	0	0	0	0
		土地	584,010	584,010	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0
		建物	104,991	104,991	0	0	固定負債	0	0	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 8,437	▲ 12,114	▲ 3,677	0	特別区債	0	0	0	0	0
		工作物等	2,973	2,973	0	0	退職給与引当金	0	0	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 2,972	▲ 2,972	0	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	680,564	676,888	▲ 3,676	正味財産	680,564	676,888	▲ 3,676	
その他の固定資産	0	0	0	680,564	676,888	▲ 3,676	正味財産の部合計	680,564	676,888	▲ 3,676		
資産の部合計	680,564	676,888	▲ 3,676	負債及び正味財産の部合計	680,564	676,888	▲ 3,676					

備考 行政コストの大部分を、学童クラブ運営のための委託料等の物件費が占めている。また、エレベーター及び児童ドアの修繕に伴い、維持補修費が生じた。

	指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	11	14.0	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	71,687	75,680	
	受益者負担比率(%)	-	-	10	11.6	
	利用児童1人当たりの年間コスト(円)	-	-	410,316	416,722	
備考	令和4年度については、行政費用において、運営委託費の物件費や昇降機の修繕により維持補修費が増加したことに伴い、利用児童1人当たりの年間コストが増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	● 転用・多目的化 ● 現状維持	民営化 その他()	他施設との統合	廃止		
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、在席児童数は増加している。					
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○保育の質の担保及び魅力的な活動プログラムを実施するため、職員の資質を担保する必要がある。 ○放課後子ども総合プラン(一体型)推進の観点から、小学校の余剰教室の状況や、学童クラブ需要の推移等を注視していく必要がある。 ○地域の危険個所の把握を行いながら、児童の安全確保及び児童への安全指導を行う必要がある。 					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心な保育環境の確保及び保育の質の向上を図るため、各学童クラブへの巡回、支援を強化していく。 ○二日小にこにこすくーる(放課後子供教室)と連携した運営を継続しつつ、長期的な学童クラブ需要の推移を踏まえ、今後の建物の在り方について検討を進めていく。 ○見守り確認業務員を一部増員し、児童の安全確保に努めるとともに、今後も地域の巡回により、危険個所の把握や情報収集を行う。 					
議会、利用者等からの意見						

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-05		
施設名	南千住六丁目学童クラブ				
所在地	南千住六丁目68番7号				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	令和3年 231,847	130,000		
	増改築①				
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	令和3年2月26日		区職員	その他	
供用開始年月日	令和3年4月1日		職員数	6	
構造	鉄骨造		階層	地上2階	
面積	敷地面積		421 m ²		
	延床面積		436 m ²		
設置目的・経緯	児童の健全な育成を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	学童クラブの運営に関する条例、学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社マミーインターナショナル	期間	令和3年4月1日	から	
				令和8年3月31日	まで	
事業内容	保護者の就労等により、昼間家庭において、適切な保護を受けることができない小学校在学児童に対し、適正な遊びと生活の場を提供する。					
対象者	保護者の就労等により、放課後に適切な保護を受けることができない荒川区に居住する小学校に在学する児童					
運営時間等	運営時間	午前8時15分から午後7時まで				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等	学童クラブ定員(人) (4/1)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	学童クラブ在籍者数(人) (4/1)			100	100	110
				85	106	112
に指定管理に係る費用	人件費			29,482	28,909	
	運営費			3,750	3,999	
備考	学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、在籍児童数は増加している。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	38,338	38,717	379	0	581	国庫支出金	15,088	15,669	581	0	
	維持補修費	0	79	79	0	1,290	都支出金	15,856	17,146	1,290	0	
	扶助費	0	0	0	0	1,135	分担金及び負担金	3,640	4,775	1,135	0	
	補助費等	0	0	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	0	
	減価償却費	10,093	10,093	0	0	0	その他	0	0	0	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	0	3,006	行政収入合計(a)	34,584	37,590	3,006	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	2,548	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 13,847	▲ 11,299	2,548	0	
	その他行政費用	0	0	0	0	23	金融収支差額(d)	▲ 23	0	23	0	
	行政費用合計(b)	48,431	48,889	458	0	2,571	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 13,870	▲ 11,299	2,571	0	
	特別費用(g)	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	2,571	当期収支差額(e)+(h)	▲ 13,870	▲ 11,299	2,571	0	
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	237,086	226,993	▲ 10,093	0	賞与引当金	0	0	0	0	0
		土地	0	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0
		建物	247,179	247,179	0	0	固定負債	0	0	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 10,093	▲ 20,186	▲ 10,093	0	特別区債	0	0	0	0	0
		工作物等	0	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	0	正味財産	237,086	226,993	▲ 10,093	237,086	226,993	▲ 10,093
	その他の固定資産	0	0	0	0	正味財産の部合計	237,086	226,993	▲ 10,093	237,086	226,993	▲ 10,093
資産の部合計	237,086	226,993	▲ 10,093	0	負債及び正味財産の部合計	237,086	226,993	▲ 10,093	237,086	226,993	▲ 10,093	
備考	行政コストの大部分を、学童クラブ運営のための委託料等の物件費が占めている。また、トイレの修繕に伴い、維持補修費が生じた。											

	指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	4	8	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	110,984	112,131	
	受益者負担比率(%)	-	-	8	10	
	利用児童1人当たりの年間コスト(円)	-	-	569,776	461,217	
備考	令和4年度については、在籍児童数の増加に伴い、利用児童1人当たりの年間コストが減少した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、在席児童数は増加している。					
現状・課題	<p>○保育の質の担保及び魅力的な活動プログラムを実施するため、職員の資質を担保する必要がある。</p> <p>○放課後子ども総合プラン推進の観点から、小学校の余裕教室の状況や、学童クラブ需要の推移等を注視していく必要がある。</p> <p>○地域の危険個所の把握を行いながら、児童の安全確保及び児童への安全指導を行う必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○安全・安心な保育環境の確保及び保育の質の向上を図るため、各学童クラブへの巡回、支援を強化していく。</p> <p>○現状の学童クラブ運営を継続しつつ、長期的な学童クラブ需要の推移を踏まえ、今後の在り方について検討を進めていく。</p> <p>○見守り確認業務員を一部増員し、児童の安全確保に努めるとともに、今後も地域の巡回により、危険個所の把握や情報収集を行う。</p>					
議会、利用者等からの意見						